

長野県がん検診実施状況調査の結果について (平成 30 年度・大腸がん)

県が市町村及び検診実施機関に対して実施したがん検診実施状況調査の結果をとりまとめた。
なお、職域の状況については、長野県健康づくり事業団、長野県厚生農業協同組合連合会、中部公衆医学研究所の検診実施状況を取りまとめた。(集計表を別冊資料 3、4 に添付した。)

1 市町村で実施された大腸がん検診の状況について

- (1) 77 市町村すべてで大腸がん検診を実施した。
- (2) 平成 29 年度の 40～69 歳の受診者数は前年度比 4,575 人減の 68,882 人で、受診率は 10.4%、住民数に対するカバー率は 8.1%、推計受診率は 27.4%だった。

	H27	H28	H29	H30	H30-H29
受診者数(人)	85,085	77,554	73,457	68,882	△ 4,575
受診率(%)	12.9	11.8	11.0	10.4	△ 0.6
カバー率(%) ※1	9.9	9.0	8.5	8.1	△ 0.4
推計受診率(%) ※2	30.8	30.9	29.3	27.4	△ 1.9

※1 住民数に占める検診受診者数の割合

※2 「市町村がん検診事業の充実強化について」(平成 21 年 3 月 18 日付け健総発第 0318001 号厚生労働省健康局総務課長通知)にて示された次の方法により算出

[推計対象者数 = 対象年齢の市町村人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数)]

- (3) 40～69 歳の受診者のうち、要精検と判定された人は 3,910 人、要精検率は昨年より△0.3%の 5.7%となり、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書(平成 20 年 3 月、がん検診事業の評価に関する委員会)にて示された要精検率の許容値(7.0%以下)を満たしている。
また、精検受診率は 0.7 ポイント上昇して 74.5%だった。

	H27	H28	H29	H30	H30-H29
要精検者数(人)	5,164	4,630	4,428	3,910	△ 518
要精検率(%)	6.1	6.0	6.0	5.7	△ 0.3
精検受診率(%)	73.0	74.6	73.8	74.5	+ 0.7

- (4) 40～69 歳の受診者のうち、がんが発見された人は 84 人で、がん発見率は 0.12%、陽性反応適中度は 2.1%だった。

	H27	H28	H29	H30	H30-H29
がん発見者数(人)	126	116	99	84	△ 15
がん発見率(%)	0.15	0.15	0.13	0.12	△ 0.01
陽性反応的中度(%)	2.4	2.5	2.2	2.1	△ 0.1

2 職域で実施された大腸がん検診の状況について

(1) 平成 30 年度の 40 歳以上の受診者数は 48,562 人だった。

	H27	H28	H29	H30	H30-H29
受診者数(人)	50,891	49,453	49,269	48,562	△ 707

(2) 要精検と判定された人は 2,865 人で、要精検率は 5.9%、精検受診率は 43.8%だった。

	H27	H28	H29	H30	H30-H29
要精検者数(人)	3,857	2,761	2,694	2,865	+ 171
要精検率(%)	7.6	5.6	5.5	5.9	+ 0.4
精検受診率(%)	43.3	43.1	41.5	43.8	+ 2.3

(3) がんが発見された人は 30 人で、がん発見率は 0.06%、陽性反応適中度は 1.05%だった。

	H27	H28	H29	H30	H30-H29
がん発見者数(人)	31	23	18	30	+ 12
がん発見率(%)	0.06	0.05	0.04	0.06	+ 0.02
陽性反応的中度(%)	0.8	0.8	0.7	1.1	+ 0.4